

関係者各位

防災特別番組

「あの日の記憶、これからの備え」

3/11（金）19時 放送

千葉テレビ放送株式会社（本社：千葉県千葉市、代表取締役社長：篠塚泉、以下：チバテレ）は、東日本大震災で被害を受けた千葉県の現在の防災対策を考える 防災特別番組「あの日の記憶、これからの備え」を3月11日（金）19時より放送します。

県内でも22人が犠牲になった東日本大震災から11年。津波や液状化など多くの被害を受けた千葉県の防災対策はどうか。昨年10月7日、県内で最大震度5弱を観測した地震では、帰宅困難者やエレベーターの閉じ込めなどの課題があらためて浮き彫りになった。「決して忘れてはいけない記憶」と「いつ起きるかわからない災害への備え」この2つの視点を軸に、視聴者とともに“これからの防災”について考えます。

《番組情報》

【番組名】

防災特別番組「あの日の記憶、これからの備え」

【放送日時】

2022年3月11日（金）19:00～19:55

※放送日時・内容は変更になる場合があります。

【出演者】

坂口隆夫（公益財団法人市民防災研究所・理事）
駒井亜由美（チバテレアナウンサー）

【番組内容】

①報道特集

- ・「震災11年。「語り継ぐ」ことの課題」
これまで震災を語り継いできた人たちが高齢などを理由に活動休止を考え始めている。今後震災をどのように伝えていくのか…。
- ・「これからの帰宅困難者対策」
東日本大震災の後、自治体などは帰宅困難者対策に取り組んできたが、昨年10月の地震では、ターミナル駅に帰宅困難者があふれた。これまでの帰宅困難者対策と、今後の課題とは？

②さまざまな企業の取り組み

- ・大切なライフライン、ガス会社が取り組む安全対策と二次災害防止。
- ・ドローンを用いた災害救助や、VRゴーグルを用いたリアルな避難訓練。
- ・巨大物流施設を用いた備蓄。

③これからの備え

- ・ハザードマップや避難場所、避難経路を家族で確認し自分が住んでいる場所の危険性を知る。
- ・「分散避難」と「在宅避難」による感染症防止。
- ・備蓄品と非常持ち出し品は分けて考える。今日から始める日常備蓄。